

2026年5月期 第2四半期決算説明

2025年12月25日
三田産業株式会社
MITACHI CO.,LTD.

東証スタンダード・名証プレミア
3321



2026年5月期 第2四半期 決算概要

2026年5月期
第2四半期
決算概要

●売上高

前年同期比で増収

- ・自動車部品メーカー向け半導体の販売などもあり、売上増加
- ・民生分野はOA機器向けEMS受注の堅調などもあり、売上増加
- ・産業機器分野は工作機械向けEMSの受注が減少し、売上減少
- ・アミューズメント分野は遊技機関連向け販売により、売上増加

●営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益

前年同期比で各利益は増益

- ・売上高増加に伴い、売上総利益も増加
- ・人件費や物流費等も増加するものの増加率を抑制

●株主還元

- ・中間配当金は1株につき40円

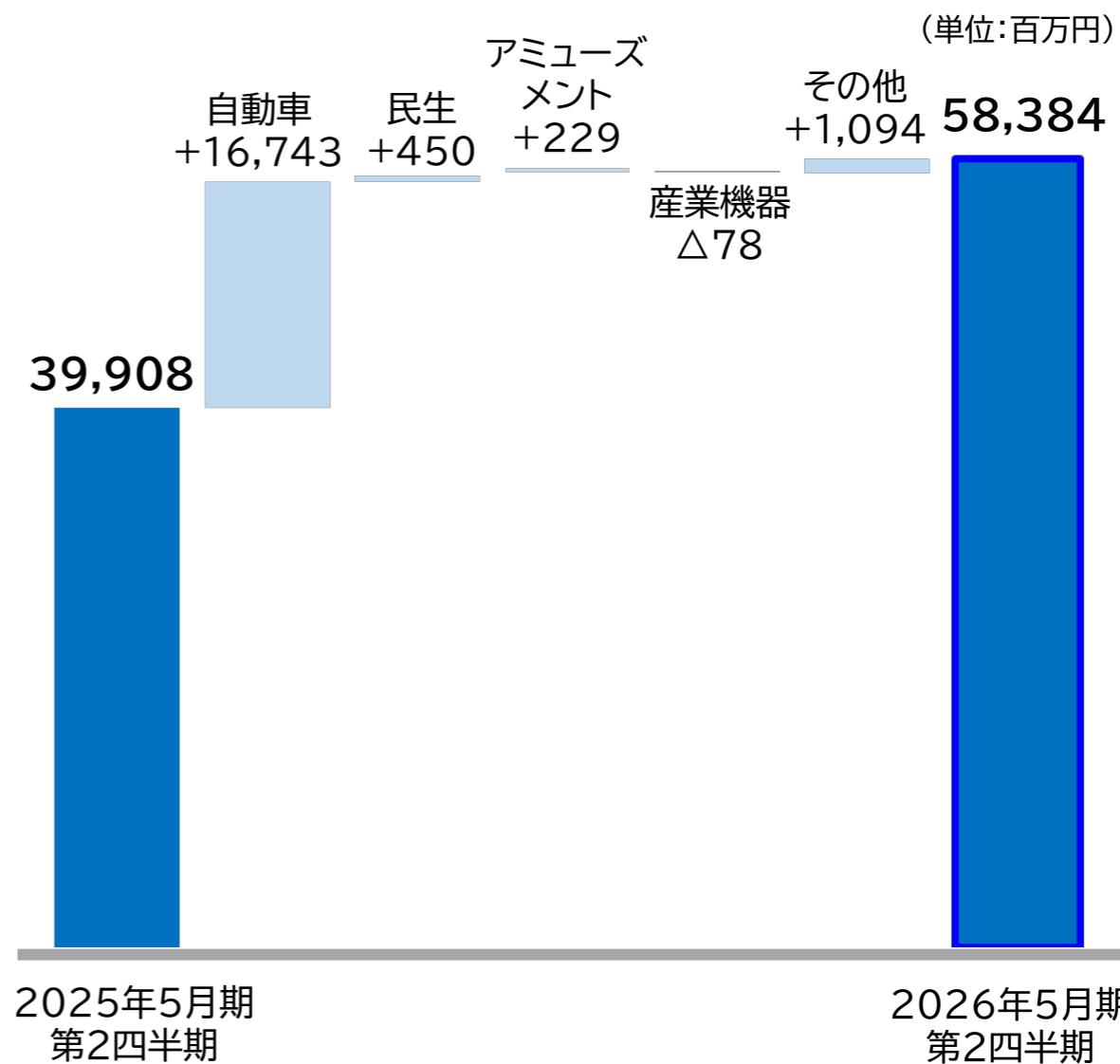
(期末配当金予想は30円、年間配当金予想は70円)

2 2026年5月期 第2四半期決算概要①

決算概要

	2025年5月期 第2四半期		2026年5月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	比率
売上高	39,908	-	58,348	-	+18,439	+46.2%
売上総利益	2,471	6.2%	3,161	5.4%	+690	+27.9%
販売費及び一般管理費	1,523	3.8%	1,587	2.7%	+63	+4.2%
営業利益	947	2.4%	1,573	2.7%	+626	+66.1%
経常利益	1,004	2.5%	1,667	2.9%	+663	+66.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	718	1.8%	1,227	2.1%	+508	+70.8%

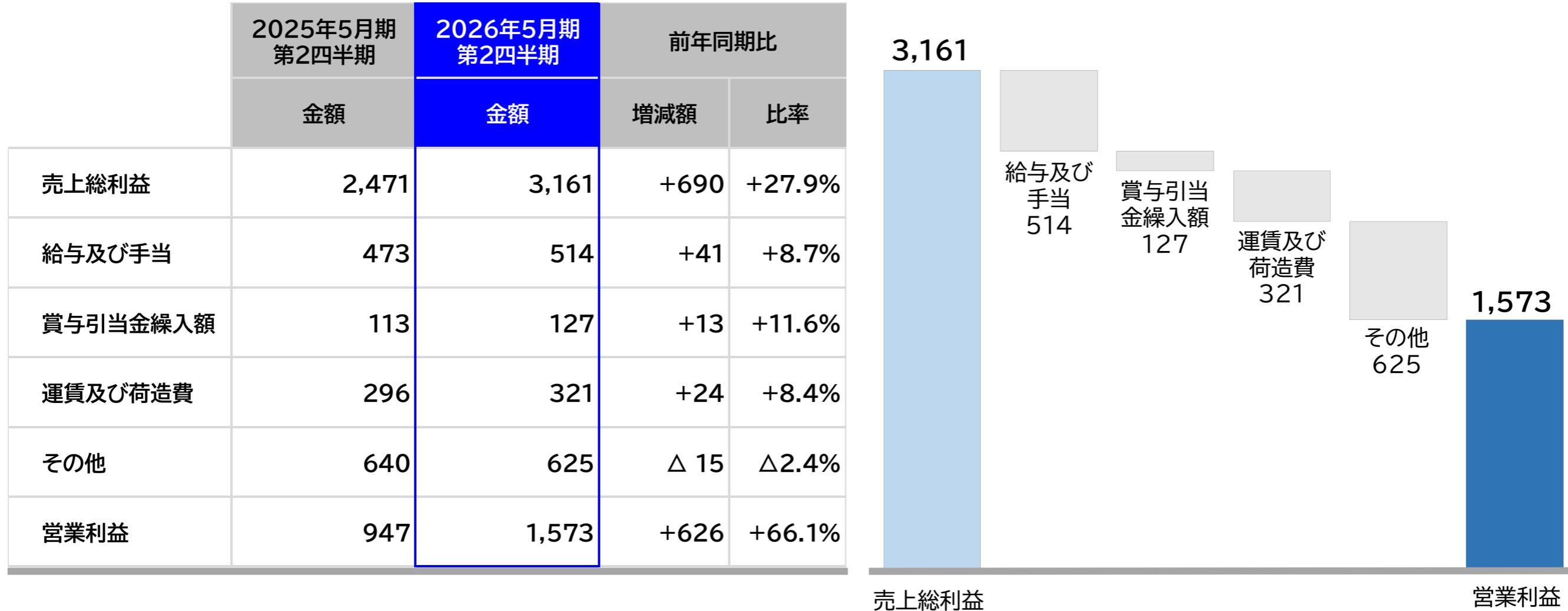
売上高



3 2026年5月期 第2四半期決算概要②

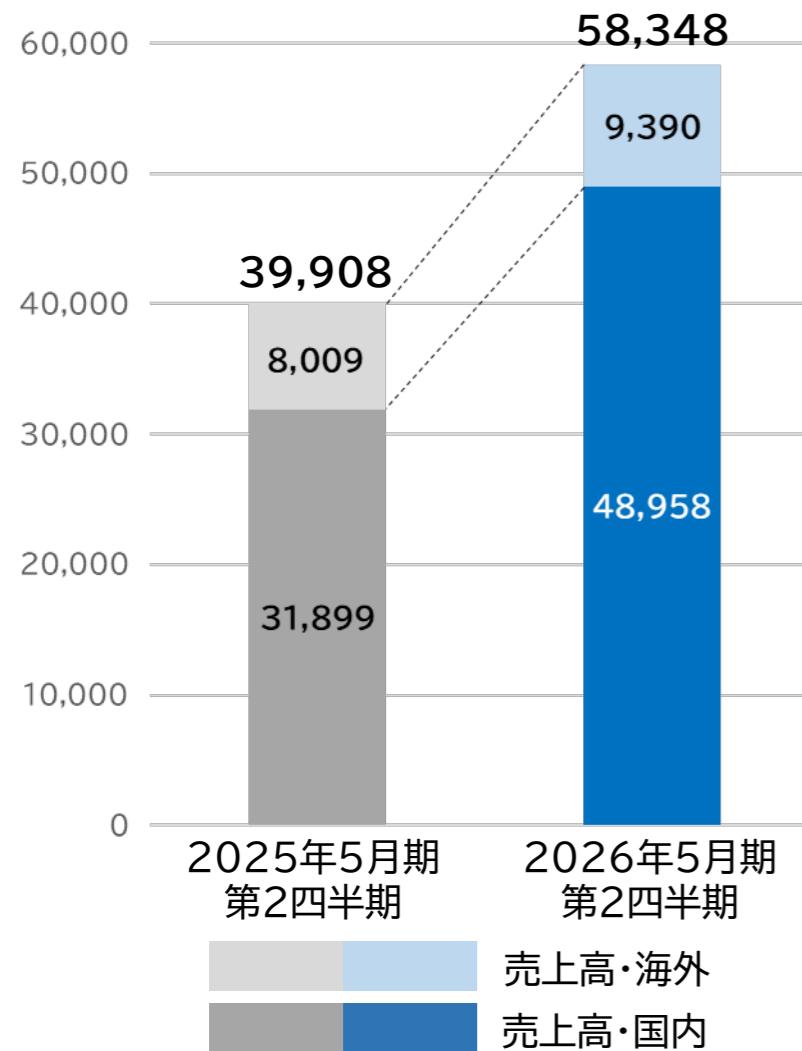
販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

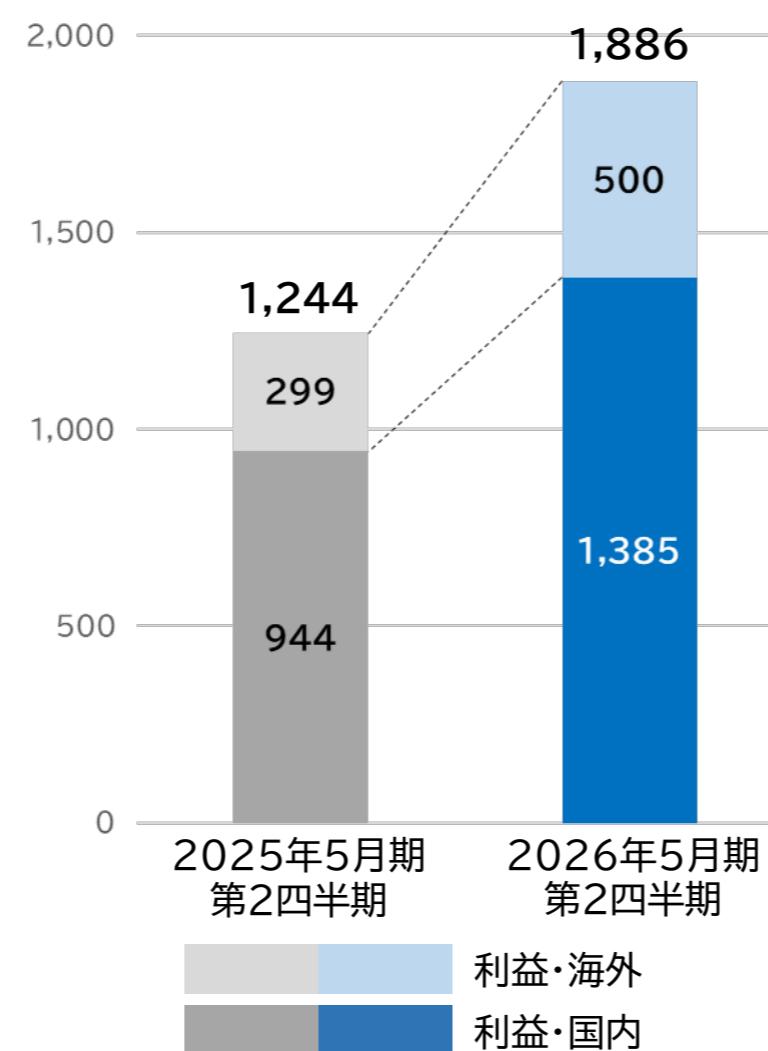


4 2026年5月期 第2四半期決算概要③

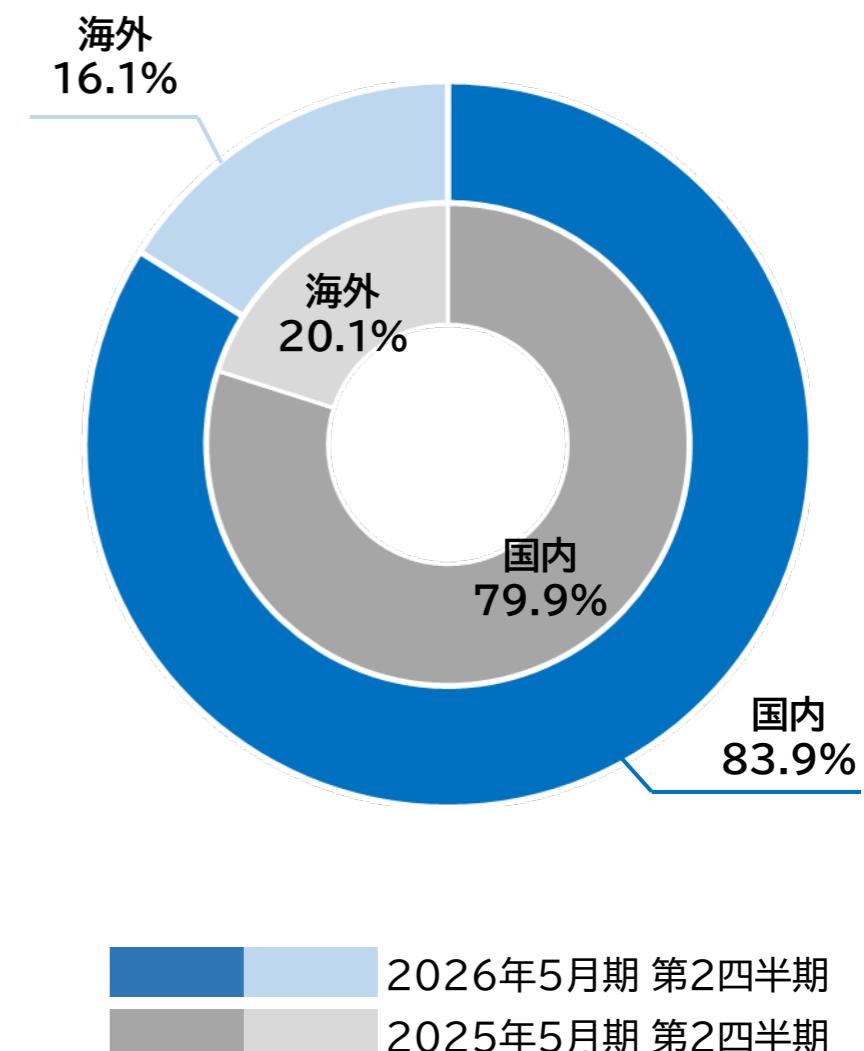
セグメント売上高 (単位:百万円)



セグメント利益 (単位:百万円)



売上高 構成比率

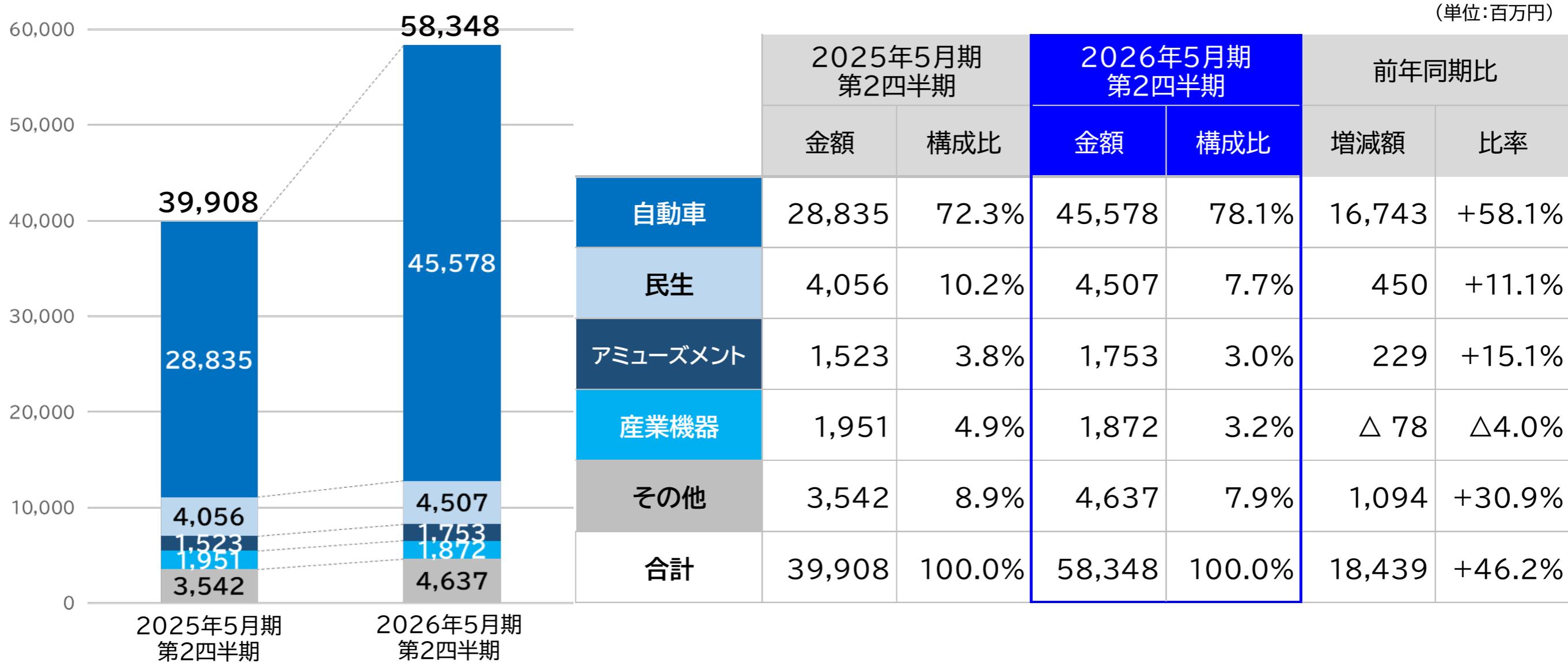


5 2026年5月期 第2四半期決算概要④

	2025年5月期 第2四半期	2026年5月期 第2四半期	前期比増減
1株当たり中間純利益	90.18円	154.00円	+63.81円
自己資本中間純利益率	4.9%	7.6%	+2.7p
総資産経常利益率	3.3%	4.1%	+0.8p
売上高営業利益率	2.4%	2.7%	+0.3p
総資産	39,884百万円	41,993百万円	+2,109百万円
純資産	14,789百万円	16,761百万円	+1,972百万円
自己資本比率	37.0%	39.8%	+2.8p
1株当たり純資産	1,853.15円	2,098.01円	+244.85円

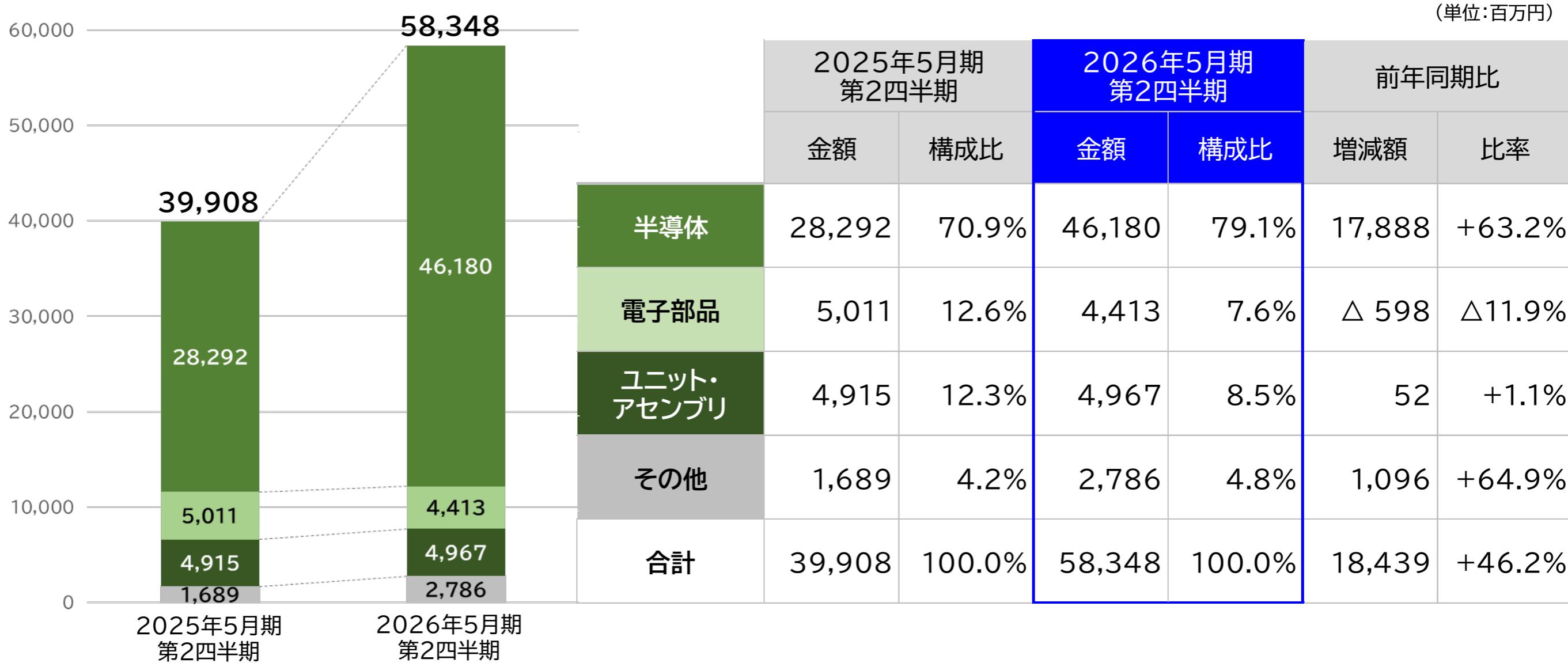
6 2026年5月期 第2四半期(参考)分野別売上高

分野別売上高(参考)



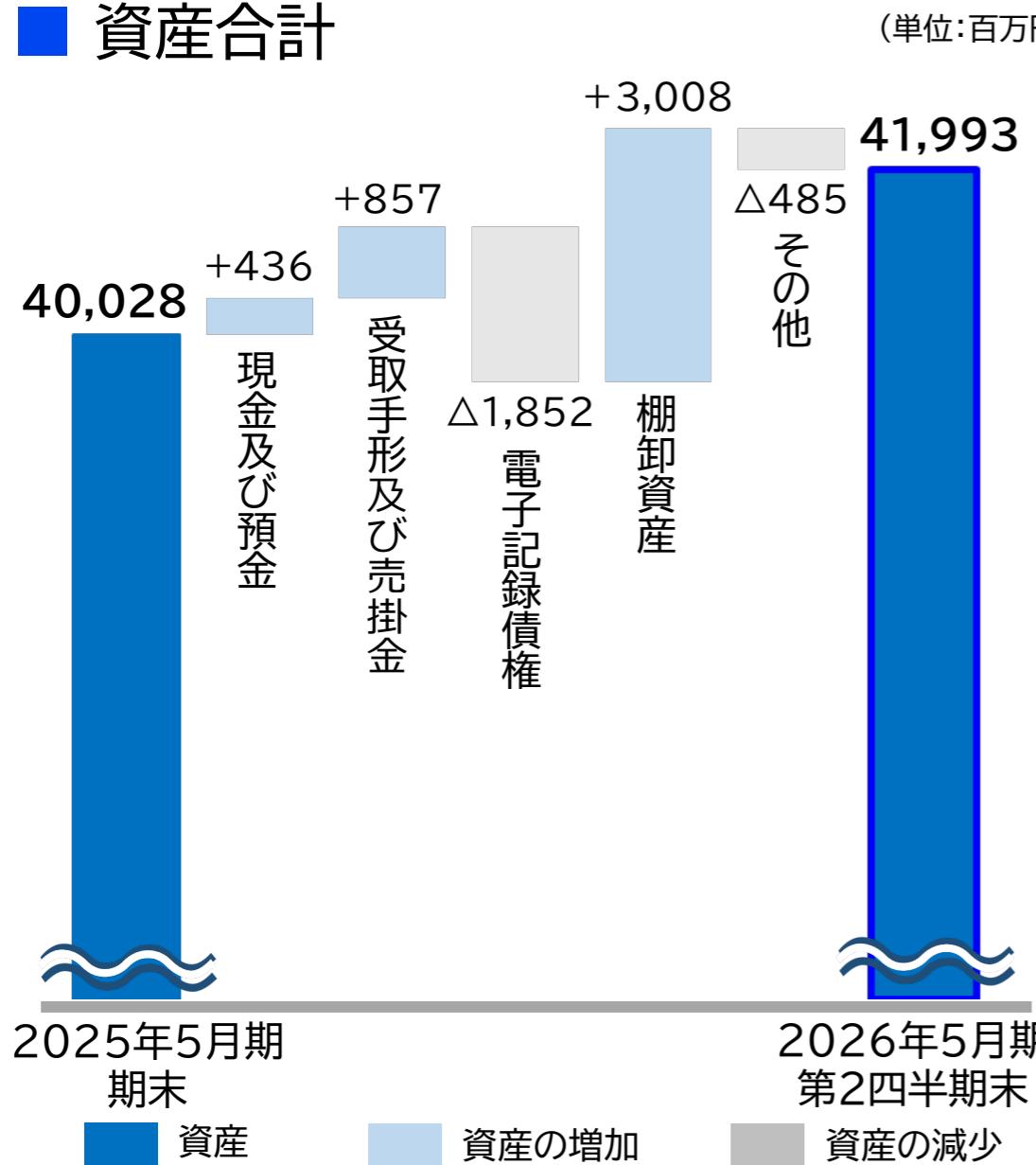
7 2026年5月期 第2四半期(参考)品目別売上高

品目別売上高(参考)

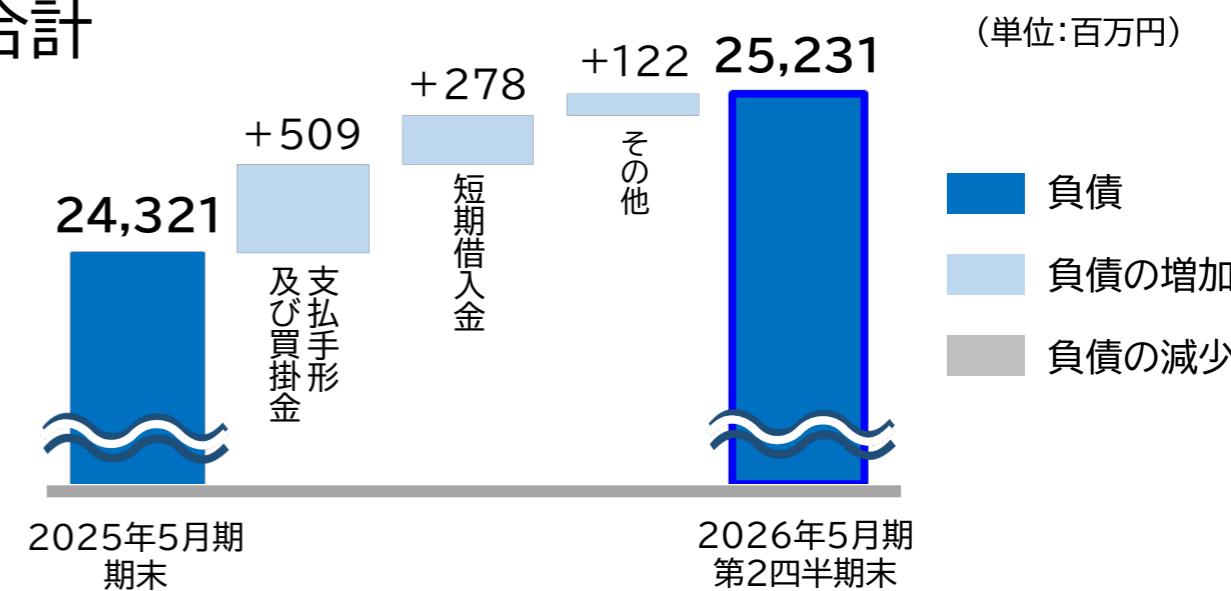


8 2026年5月期 第2四半期 貸借対照表の概要

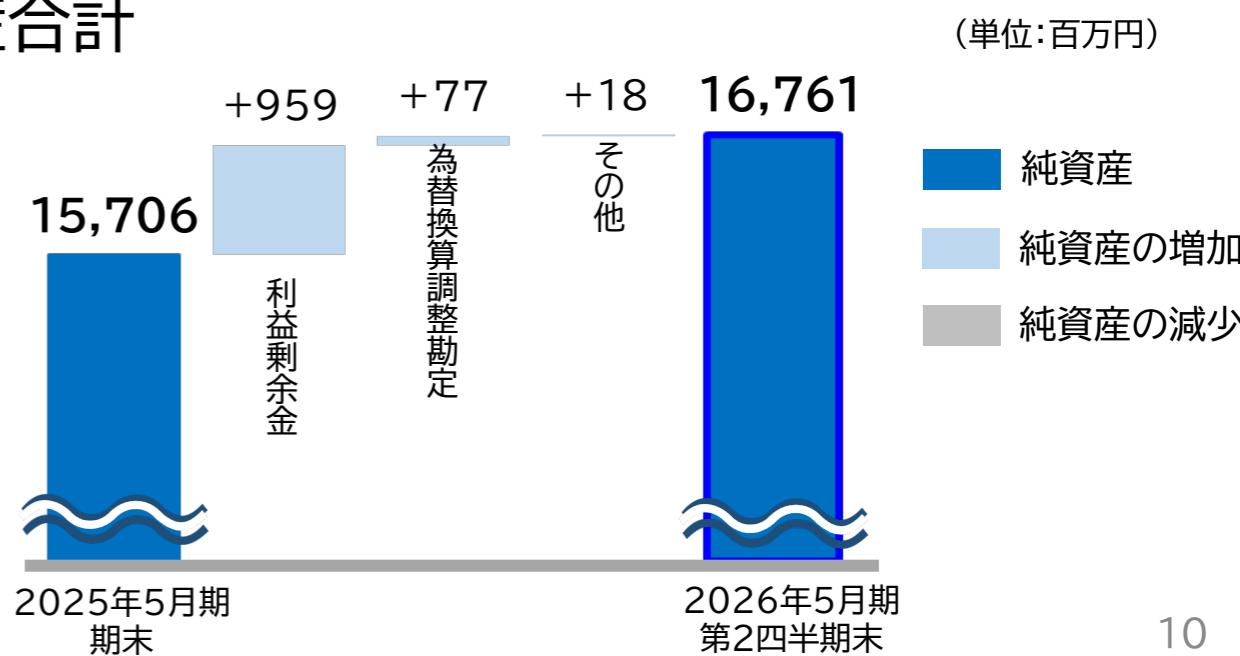
■ 資産合計



■ 負債合計



■ 純資産合計

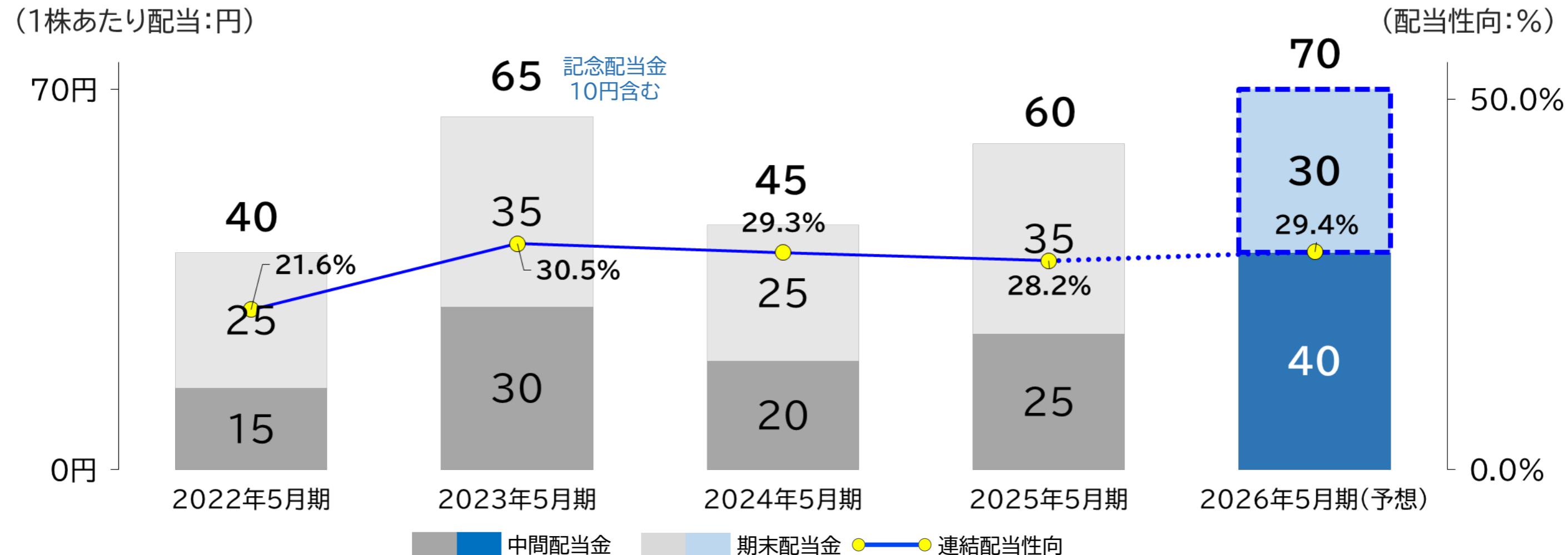


9 2026年5月期 第2四半期 キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)

	2025年5月期 第2四半期	2026年5月期 第2四半期	内 訳	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,621	481	税金等調整前中間純利益	1,732
			売上債権の増減額(△は増加)	1,005
			棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 3,001
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 82	△ 27	関係会社株式の取得による支出	△ 76
			有形固定資産の取得による支出	△ 90
			有形固定資産の売却による収入	137
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,303	△ 81	短期借入金の純増減額(△は減少)	278
			配当金の支払額	△ 278
現金及び現金同等物の増減額	500	436		
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,593	4,793		

2026年5月期 年間配当金 1株につき70円(予想)



11 トピックス・取組

1 第8回名古屋ファクトリーイノベーションWeek 「ロボデックス展」に出展

中期経営計画「新たな収益基盤の創出」に基づき、2025年10月29日～31日、第8回名古屋ファクトリーイノベーションWeek「ロボデックス展」に出展しました。

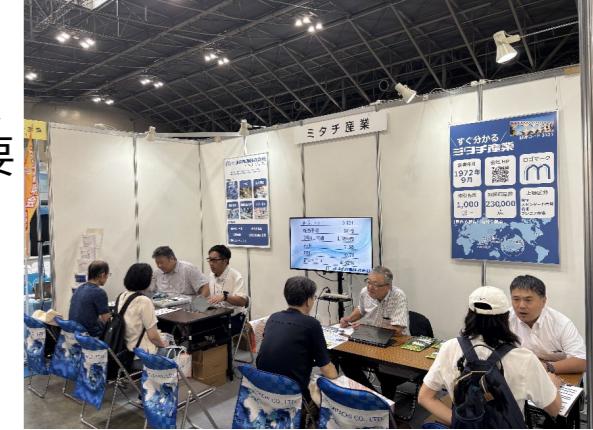
良品学習方式を使ったAI画像検査技術により高精度且つ短期間に外観検査自動化を実現できる「AI画像自動検査パッケージ」、特定のメーカーに限定することなく様々な設備データを自動収集・一元管理し活用することで、すぐに工程改善が可能となった「工程改善アシストパッケージ」、

AR・MR技術とAI映像解析技術の組み合わせで製造現場の検査業務を効率化した「Meister MR Link」などのソリューションをデモンストレーション機器とともに展示しました。



2 名証IRエキスポ2025出展

名証IRエキスポ2025に出展しました。数多くの方が当社ブースにお立ち寄りいただき、事業概要やトピックス、株主還元方針などの説明を実施しました。



3 インド子会社を設立

2025年7月にインドのエレクトロニクス市場における顧客ニーズに対応するため、半導体・電子部品の販売ならびにEMS(電子機器受託製造サービス)の展開を目的とする子会社を設立しました。





会社概要



半導体・電子部品 (電子デバイス)

個別半導体からシステムLSI、メモリ、液晶、電子部品、基板、モジュールの販売、多種多様な商品をワンストップでご提供

EMS

自社工場をはじめ
国内、海外を問わず基板の
アッセンブリからユニット、
製品の組立まで対応
EMS: Electronic manufacturing services
電子機器受託製造サービス



設備・副資材

表面実装機、印刷機、リフロー槽を
はじめとする電子部品実装ライン、
検査機、専用自動機、消耗材や
副資材等を販売



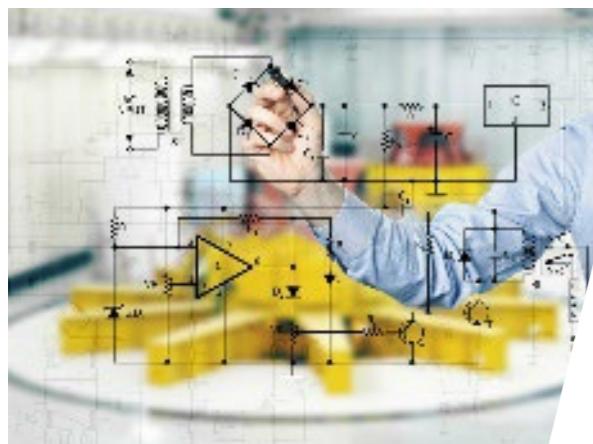
組込製品

海外CPUボード、パネルユニットを
数多く取扱い、様々な分野向けの
標準品、カスタム仕様品の対応が可能



設計開発

回路設計、筐体設計、ソフトウェア設計、
製品デザインなど、商品・製品の開発に
おけるトータルでのサービスに対応



IoT/DX

自社オリジナルのIoTプラットフォーム
miotシリーズなど、様々なお客様の
課題をデジタルの技術で解決



13 会社概要及び株式の状況

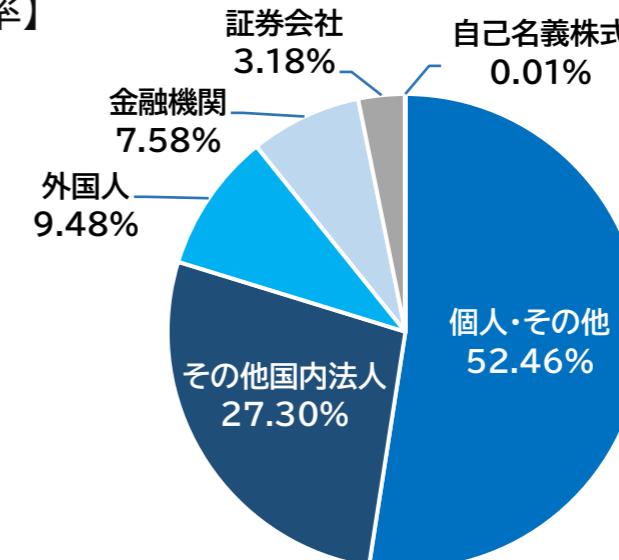
会社名	ミタチ産業株式会社 MITACHI CO., LTD.
創業	1972年9月
設立	1976年7月
本社	〒460-0026 愛知県名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号
資本金	8億4,739万7,203円
従業員	(連結)633名 ※(※2025年11月30日現在) (単体)144名 ※(※2025年11月30日現在)
役員	代表取締役社長 橘 和博 取締役 沖 久和 取締役 田村 学 取締役 野村慎一 取締役(常勤監査等委員) 大島卓也 社外取締役(監査等委員) 中浜明光 社外取締役(監査等委員) 松岡正明 社外取締役(監査等委員) 濵谷 歩

【大株主の状況】

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社JU	1,944,800	24.40%
株式会社三菱UFJ銀行	200,000	2.51%
INTERACTIVE BROKERS LLC	198,400	2.49%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	188,400	2.36%
工藤 雅之	129,500	1.62%
橘 和博	123,400	1.55%
RE FUND 107-CLIENT AC	118,600	1.49%
ミタチ産業従業員持株会	114,023	1.43%
野中 光夫	110,000	1.38%
西村 光司	102,500	1.29%

※持株比率は自己株式(688株)を控除して計算しております。

【構成比率】





お客様

当社

仕入先様

ミタチ産業の社名は三つで成り立つ
(お客様-当社-仕入先様)
という三位一体の精神に由来しております。



ローマ帝国時代に生命をつなぐ水を運ぶ大切な使命を果たした「ガールの水道橋」。2000年の時を超えて往時の卓越した技術力を今に伝えるこの橋をモチーフに当社のシンボルマークは生まれました。そこには「いつまでもお客様と仕入れ先様をつなぐ架け橋でありたい」という想いが込められています。

15 経営理念と原点・原動力

経営理念

顧客第一主義

満足を得た顧客こそビジネス最大の源泉。
お客様の満足が自社の繁栄につながっている経営を行う。

人間尊重

従業員が会社の宝であり財産。
お互いに自己を尊重すると同時にあらゆる他人をも尊重する。

一流へのチャレンジ

開かれた近代経営を行い、永遠の企業発展を目指す。

創造的革新

現状に満足せず、常に問題意識をもって自己を厳しく見つめ、
絶え間ない変革を遂げていく。

企業の社会的貢献

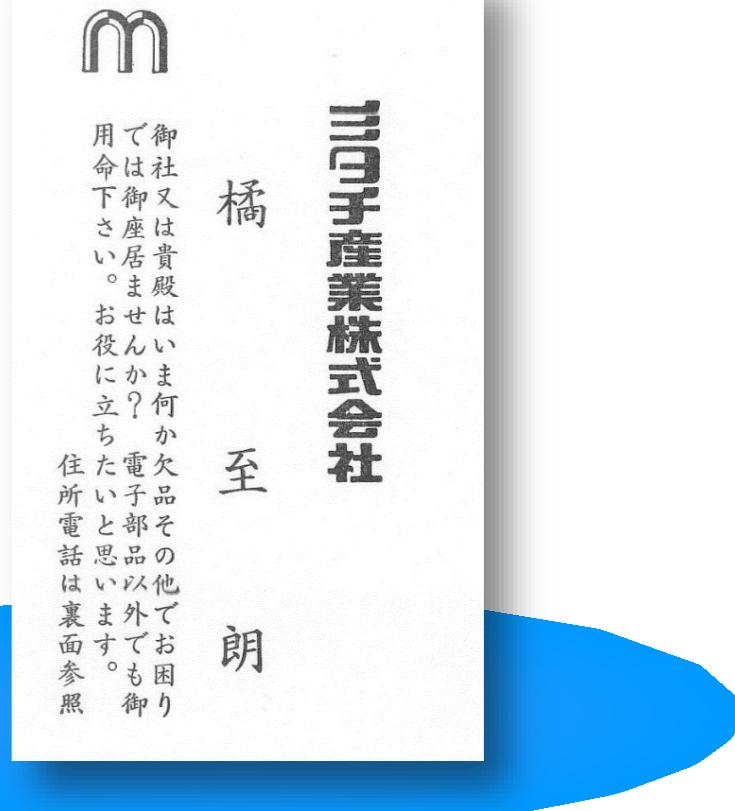
ボランティア、メセナ等で社会に貢献していくことは必要であるが、当社において最も大切な貢献は、毎期利益をあげて税金を納め続けること。そして、社会のルールを守り他人に迷惑を掛けない事業を行うこと。

原点・原動力

「お客様のお困りごとを解決しよう！」

という熱き想いがミタチ産業の原点・原動力です。

ミタチ産業の「産業」は、お客様への貢献を目的としたあらたな産業への挑戦により、継続的な企業発展を目指していくという意志が込められています。





SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ミタチ産業経営理念

顧客第一主義

一流へのチャレンジ

企業の社会的貢献

人間尊重

創造的革新

ESG経営

Environment 環境

- ・環境方針の確立、ISO14001の認証取得
- ・GHG排出量の削減(Scope1.2)
- ・省電力の半導体や電子部品、ICTを活用した資源利用の効率化
- ・在庫の適正化で廃棄物ロスの最少化を推進



Social 社会

- ・品質方針の確立、ISO9001の認証取得
- ・働き方改革、健康経営の推進
- ・従業員の能力開発、ダイバーシティの推進
- ・ソリューションやサービスを通じた社会課題への対応
- ・セーフティードライブ活動やエコキャップ運動への参加



Governance ガバナンス

- ・コーポレート・ガバナンスの維持・向上
- ・リスクマネジメントの強化
- ・コンプライアンスの徹底



当社の持続的な成長

持続可能な社会の実現



18 中期経営計画2026

中期経営計画2026
(2024年度から2026年度)

<経営理念>

- ・ 顧客第一主義
- ・ 人間尊重
- ・ 一流へのチャレンジ
- ・ 創造的革新
- ・ 企業の社会的貢献

<目指す姿>



感動の架け橋

New Stage

中期経営計画2026

<当社の精神>

- ・ 三つ(お客様-当社-仕入先様)で立つ“ミタチ”
- ・ お客様のお困りごとを解決しよう
- ・ ミタチ“産業”的に産業に込めた挑戦と発展

新中期経営計画 重点施策

新たな収益基盤の創出
エレクトロニクスとデジタル技術をコアとした収益基盤の創出

“MONOもKOTOも”的スローガンのもと
エレクトロニクスとデジタル技術を
コアとした新たな価値提供により
収益基盤の創出をすすめていきます。

ミタチ産業株式会社

Copyright©2025MITACHI CO.,LTD. All Rights Reserved.

基盤ビジネスの強化・拡大
対応レベル向上&領域拡大

基盤であるモビリティ・産業機器分野
民生・アミューズ分野において
機能、領域、拠点の強化を行い
売上と利益を拡大していきます。

健全な経営基盤の維持・強化
経営資本の最大活用、ガバナンスの維持・強化

経営理念の実践により培ってきた
経営資本の強化と、従業員・組織が
やりがいを持ち活躍できる環境をつくり
経営品質を高めています。

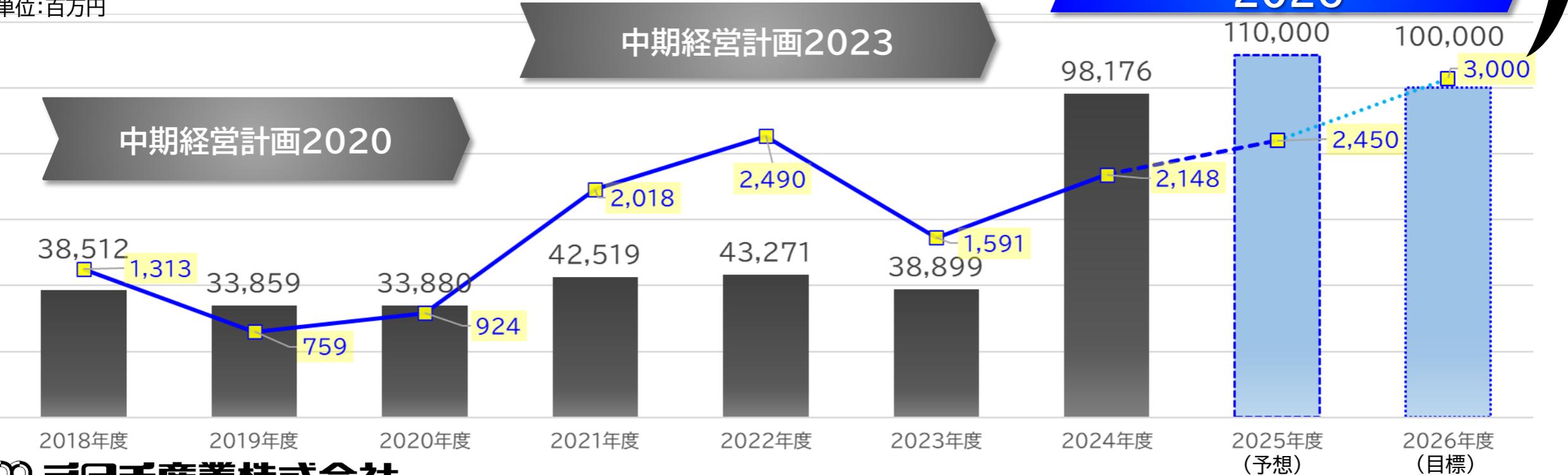
19 中期経営計画2026の経営目標

売上高・営業利益・ROE目標

既存ビジネスの強化、新たな収益基盤の拡大で
事業成長を目指していきます

- 売上高(予想・目標)
- 売上高(実績)
- 営業利益(予想・目標)
- 営業利益(実績)

単位:百万円



◆将来予想について

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれ、その実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により異なることがあります。

また法令等で別途定めがある場合を除き、当社はいかなる将来の見通しも最新のものとする義務を負いません。

IR資料室

ホームページ

お問い合わせに関する窓口



ミタチ産業株式会社

経営企画室

TEL :052-332-2596

HP <https://www.mitachi.co.jp>